

## 1 2024年豊後水道の地震(M6.6)

2024年4月17日23時14分頃に豊後水道深さ39kmにおいてM6.6の地震が発生した。この地震によって震度6弱を高知県宿毛市と愛媛県愛南町で観測した。宿毛市は震源から離れているにもかかわらず大きな震度となった。その原因について、表層地盤増幅による影響を受けていたかどうか調べる。

## 2 微動アレイ探査

2023年8月に高知県西部の震度観測点において微動アレイ観測を行い、そのデータの解析によって表層地盤のS波速度構造モデルを推定した。

## 3 表層地盤のS波速度構造モデル

表層地盤の地下30mまでの平均S波速度AVS30は、宿毛市で217m/sと小さい。また、震源からさらに遠い高知県四万十市中村は175m/sとかなり小さく、震度5弱だった。土佐清水市や四万十町大正ではAVS30が400m/s以上であり、震度は周辺より低い。AVS30と震度には関係があることがわかった。



2024年豊後水道の地震(6.6)による震度分布とAVS30 (上)  
震度6弱を観測した宿毛市の強震計における微動アレイ観測の様子 (左)

